

SCIXカップ 女子7人制ラグビーフットボール大会 実施レポート



令和3年11月13日・14日

特定非営利活動法人
スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構



この大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施されています。

『コロナ感染対策をとりながら、1年ぶりのSCIXカップ「無観客」で開催！』

【1日目】

11月13日(土)、神戸製鋼灘浜グラウンドにて「SCIX カップ女子7人制ラグビーフットボール大会」が1年ぶりに開催されました。

主に関西圏における女子選手の強化・普及、ならびに単独チームに所属していない女子選手に大会出場機会を設けることを目的とした大会で、2015年に初回を開催して以来、毎年開催していましたが、昨年は新型コロナウイルスの爆発的流行により残念ながら中止。今年はコロナ感染対策に細心の注意を払いつつ、晴れて開催する運びとなりました。これまで実施していた試合前の代表者ミーティングは中止とさせていただきます、1試合目開始前には救護エリアにてチーム関係者全員の検温を行い、こまめな手洗い、アルコール消毒を励行。また、選手・関係者の皆さんの安全・安心の観点から、チームの応援に関しても自粛をお願いし、無観客開催とさせていただきます。



コロナ禍での開催となった今大会ですが、今年も関西のみならず、中四国や九州のチームを含め、12チームが参加してくれました。石見智翠館高校と、中学の部としてエキシビジョンマッチに出場する兵庫ガールズはAとBの2チームでの参加。前回大会の覇者・京都成章高校は怪我人などの関係上、残念ながら今大会は不参加となり、石見智翠館高校の王座返り咲きとなるか、全国U18

女子セブンズラグビーフットボール大会・近畿ブロック予選で京都成章高校を下し、めきめきと力をつける追手門学院高校の初優勝となるか、はたまた他チームによる番狂わせが見られるか、出場チームの顔ぶれを見るだけで期待に胸躍ります。

ラグビー通なら驚くこと間違いなしの光景も!?

大会1日目はプール予選会として、計9チームによるプール戦を実施。A～Cの3つのプールに分かれ、各チーム2試合、合計9試合を行います。加えて、中学生チームによるエキシビジョンマッチ5試合、さらにSCIXラグビークラブと追手門学院高校とのエキシビジョンマッチの合計15試合を行います。

10時30分、プールAのメリノール学院高校とCHEERSによる第一試合がキックオフ。青空に楕円球が高く舞い上がります。開始早々、メリノール学院高校があっさりトライを奪うと、そこから一気にメリノール学院高校が攻め立てます。前半の7分が終了し、ハーフタイムを挟み、心機一転CHEERSの反撃なるか!?!と思われましたが力及ばず、40-0で試合終了。メリノール学院高校の強さ際立つ試合となりました。

続く第二試合は、プールBの鳴門渦潮高校と我々がSCIXラグビークラブとの対戦。SCIXによるキックで試合開始。鳴門渦潮高校の飛び出しやパス回しに、なんとか食らいつこうとするものの、なかなかトライを奪えないSCIX。そんな中、ハーフタイムではラグビー通なら驚くこと間違いなしの光景が見られました。代々、SCIXラグビークラブの指導陣は、神戸製鋼コベルコスティーラーズを引退した元トップレベルの選手ということで、現在女子チームを指導している高木コーチもスティーラーズ出身なわけですが、ここ最近のSCIXの練習では、元セブンズ日本代表の森田慎也氏、そして日本代表経験もあり、今年4月に引退したばかりの

正面健司氏がコーチングをしてくれていることから、SCIX カップ当日もベンチに入り、ハーフタイムやゲーム中随所でこの2人がウォーターボーイとしてピッチを走るというシーンがありました(森田氏はセブンズ日本代表の経験を活かして大会運営にも参加)。プレーしている中高生の選手たち以上に、参加チームの指導陣がこの豪華なウォーターボーイに驚いたことでしょう。なんとか1トライ、1キックで7点をもぎ取ったSCIXでしたが、7-31でノーサイド。残念ながら黒星発信となりました。

3試合目はプールCの、追手門学院高校と石見智翠館高校Bチームが対戦。Bチームとはいえ優勝常連チームの石見智翠館高校とあって、白熱した試合展開になるかと思われましたが、追手門学院高校がスピードとスキルで翻弄し、50-0と石見智翠館高校Bチームを相手に完封勝利を納めました。

プールA、B、Cとそれぞれ1試合ずつ行ったあとは、中学生チームによるエキシビジョンマッチ2試合が行われ、京都JOINOUS、広島ドルフィンズともにSCIXカップ初出場の2チームがガールズ兵庫Aチーム、Bチームそれぞれを相手に善戦。ガールズ兵庫Bチームと広島ドルフィンズの試合は2点差でガールズ兵庫Bチームが勝利という接戦を繰り広げました。



予選リーグ一番の注目カード、果たして結果は!?

25分間のお昼休憩を挟み、午後の部がスタート。この日一番の注目カードと言える、プールA・メリノール学院高校と石見智翠館高校Aチームが激突します。メリノール学院高校は午前中の第一試合でCEERSを相手に40-0の完封試合をしている一方、石見智翠館高校Aチームはこの日初めての試合ということでメリノール学院高校が有利かと思われましたが、そこは優勝常連チーム、心配には及びません。僅かなチャンスを見逃さずトライに持ち込み、予想通り一進一退の攻防を繰り広げる両チーム。おそらくこの試合を制したチームがプールAの1位通過となるであろうことから、両者一步も譲らず。緊迫した試合は17-17のドローでノーサイド。既に2試合終了となるメリノール学院高校は、何位通過になるかプールAの最終試合、石見智翠館高校AチームとCHEERSの結果を待つことに。

ここから続く3試合、プールB・SCIX—四日市農芸高校、プールC・追手門学院高校—福岡レディース、中学生エキシビジョンマッチ・京都JOINOUS—福岡レディースはいずれも0-22、36-0、0-38とワンサイドゲームになり、力の差をまざまざと見せつけられる結果に。ここで2試合を終了し、2敗を喫したSCIXは2日目の決勝リーグでボウルリーグにまわることが確定。とはいえ、まだ最後のエキシビジョンマッチが残っているので、なんとかもう1トライ上げてくれることに期待したいところ。

予選リーグ通過順位が確定!

中学生チームによる全てのエキシビジョンマッチを終え、再び各プールの試合へ。プールAの最終戦・CHEERSと石見智翠館高校Aチームとの試合は52-0と石見智翠館高校Aチームの圧勝。これによりプールAは石見智翠館高校Aチームとメリノール学院高校の1勝1引き分けとなり、52点を獲得した石見

智翠館高校 A が得失点差で 1 位通過という結果に。両チームとも大量得点による完封勝利を納めているわけですが、ここは試合順が功を奏したと言えるかもしれません。メリノール学院高校には決勝リーグのプレードリーグで優勝を目指してもらいましょう。

プール B、プール C それぞれの最終試合も終え、各プールの勝敗、順位が確定。この日最後の試合となる SCIX 対追手門学院高校の試合で、SCIX の本領発揮なるか!?と一同期待しましたが、残念ながら 0-40 の完敗。気持ちを切り替え、翌日の決勝リーグでひと花咲かせてもらいましょう！と期待を込めつつ、大会初日の全行程を終了。

■参加チーム

【高校の部】

SCIX ラグビークラブ、石見智翠館高校、追手門学院高校、鳴門渦潮高校
福岡レディース、CHEERS、四日市農芸高校、四日市メリノール学院高校

【中学の部】

ガールズ兵庫、広島ドルフィンズ、福岡レディース、京都 JOINOUS

■組み合わせと結果

【高校の部】

◎プールA

	メリノール学院高校	CHEERS	石見智翠館高校A
メリノール学院高校		①	④
CHEERS			⑦
石見智翠館高校A			

◎プールB

	SCIX	鳴門渦潮高校	四日市農芸高校
SCIX		②	⑤
鳴門渦潮高校			⑧
四日市農芸高校			

◎プールC

	追手門学院高校	石見智翠館高校B	福岡レディース
追手門学院高校		③	⑥
石見智翠館高校B			⑨
福岡レディース			

	チーム名	勝	分	負	勝点	順位
プールA	メリノール学院高校	1	1	0	4	2
	CHEERS	0	0	2	0	3
	石見智翠館高校A	1	1	0	4	1
プールB	SCIX	0	0	2	0	3
	鳴門渦潮高校	1	0	1	3	2
	四日市農芸高校	2	0	0	6	1
プールC	追手門学院高校	2	0	0	6	1
	石見智翠館高校B	0	0	2	0	3
	福岡レディース	1	0	1	3	2

『いよいよ優勝チームとMVPが決定する決勝リーグ戦！』

【2日目】



大会初日同様、清々しい秋晴れのもと SCIX カップ決勝リーグが開催。例年同様、大会2日目はスピーカーなどの音響機材が設置され、会場アナウンスも入り、大会を盛り上げます。ただし、今大会はコロナ禍ということに留意し、開会式・閉会式等のセレモニーは中止。大会主催者の SCIX より、レフリー陣とマッチドクター、そして主催者を代表してスポーツNPO 法人 SCIX 代表理事の氏家啓喜氏を紹介し、開会を告げます。初日同様、チーム関係者全員の検温を実施し、チームの応援に関しても自粛をお願いし、無観客開催とさせていただきます。大会本部からもマイクを通して、コロナ感染対策に関する注意事項などを改めてアナウンスし、2日目の「決勝リーグ」がスタートします。

前日の予選プールの結果を受け、各プール1位通過の3チーム、石見智翠館高校Aチーム、四日市農芸高校、追手門学院高校がカップリーグで優勝を争います。そして各プール2位通過の3チーム、メリノール学院高校、鳴門渦潮高校、福岡レディースがプレートリーグで激突。各プール3位通過の3チーム、CHEERS、SCIX、石見智翠館高校Bチームがボウルリーグで戦います。

前述の通り、今大会ではセレモニーは開催しませんが、優勝チームには優勝トロフィーを贈呈。さらに、各リーグから MVP1 名を選出し、MVP 賞の贈呈を行います。どのチームが栄冠を手にするのか、MVP は誰なのか？注目の決勝リーグが開幕。

決勝リーグ第一試合は、石見智翠館高校Aチームと四日市農芸高校の対戦。予選1位通過同士の対決とあって接戦が予想されましたが、そこは



全国覇者の風格というところでしょうか、四日市農芸高校を寄せ付けず 36-0 で石見智翠館高校 A チームの完勝。

続く 2 試合目もメリノール学院高校が鳴門渦潮高校に 36-0 のワンサイドゲーム。3 試合目には SCIX ラグビークラブが登場。SCIX が念願の今大会初白星をあげられるか!?と、大会運営スタッフでもある OB、OG が見守るなか、CHEERS 相手に奮闘する SCIX メンバーたち。激しいタックルや、敵陣から独走し一気にトライに持ち込むといったシーンも見られ、26-10 で 1 勝をもぎ取ることができました。



中学生のエキシビジョンマッチ 1 試合を挟み、早くも実質の決勝戦となる石見智翠館高校 A チームと追手門学院高校との対戦。石見智翠館が安定のパス回しと、ナイスランでトライを稼ぎ 26-7 でノーサイド。追手門学院高校を 1 トライ 1 キックに抑え、全勝でカップリーグ首位に立ちます。その後はワンサイドゲームが続き、昼休憩を挟み午後の部がスタート。中学生のエキシビジョンマッチを含め 3 試合を終え、

再び SCIX ラグビークラブが登場。石見智翠館高校 B チームを相手にもう一勝なるか!? ボウルリーグでの優勝を懸けた戦いが始まります。初日とは別人かのような気迫を見せる SCIX に対し、なかなかトライを奪えない石見智翠館高校 B チーム。終わってみれば 26-0 と SCIX が石見智翠館高校を完封。これに大会本部からも拍手が起こりました。

本戦終了後に予定されていたエキシビジョンマッチは変更になり、石見智翠館高校 B チームー追手門学院高校、石見智翠館高校 B チームーメリノール学院高校というカードに。2 日間に渡る全試合が終了し、カップリーグを制した石見智翠館高校 A チームが見事優勝。SCIX カップの王座に返り咲き。SCIX ラグビークラブも前日とは打って変わって、いい動きを見せ、勝利を納めることができました。

MVP は石見智翠館 A・宮本和さん、メリノール学院・宮波ひなのさん、SCIX・森田奏さん！

優勝チームの代表者 1 名に、主催者を代表し、スポーツNPO 法人 SCIX 代表理事・氏家啓喜氏より優勝カップを贈呈。さらに、各カテゴリーから 1 名ずつ選出された MVP には、コベルコスティーラーズ所属の日本代表選手の直筆サイン入り日本代表レプリカジャージーが贈られました。MVP に選ばれたのは、石見智翠館高校 A チーム・宮本和(のどか)さん、メリノール学院高校・宮波ひなのさん、SCIX ラグビークラブ・森田奏(かなで)さんの 3 名。試合中の表情とは全く違う、女子高生らしい屈託無い笑顔が印象的でした。優勝チーム、MVP の発表、表彰式を終え「第 7 回 SCIX カップ女子 7 人制ラグビーフットボール大会」は閉幕。



連日、白熱した試合が続き、たくさんの汗と涙だけでなく、担架が出動する場面もありましたが、救命救急医として日々ドクターヘリにも乗るマッチドクター・上田医師の的確な対応と判断もあり、選手たちは大事に至らず、その後も元気にプレーされているとの報告を受けました。ラグビーは怪我がつきものの競技ではありますが、今大会はもとより、ラグビーに興味を持ち、ラグビーを楽しむ女子選手存在を嬉しく思います。今後も SCIX カップを継続し、女子ラグビーの普及に努めて参る所存です。

今回は、新型コロナウイルスの感染が収束しない中、コロナ感染対策を取りながらの大会となりました。ご参加いただいた皆さまには、感染対策にご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。来年度はコロナ感染の心配のない中で開催できればと思っております。また来年も、この灘浜グラウンドで皆さまとお会いできますこと、心より楽しみにしています。2日間、本当にありがとうございました！

■参加チーム

【高校の部】

SCIX ラグビークラブ、石見智翠館高校、追手門学院高校、鳴門渦潮高校

福岡レディース(筑紫台高校)、CHEERS、四日市農芸高校、四日市メリノール高校

■組み合わせと結果

【高校の部】

◎カップ

	石見智翠館 高校A	四日市農芸 高校	追手門学院 高校
石見智翠館 高校		①	④
四日市農芸 高校			⑦
追手門学院 高校			

◎プレート

	メリノール 学院高校	鳴門渦潮 高校	福岡 レディース
メリノール 学院高校		②	⑤
鳴門渦潮 高校			⑧
福岡 レディース			

◎ボウル

	CHEERS	SCIX	石見智翠館 高校B
CHEERS		③	⑥
SCIX			⑨
石見智翠館 高校B			

	チーム名	勝	分	負	勝点	順位
カップ	石見智翠館 高校A	2	0	0	6	1
	四日市農芸 高校	0	0	2	0	3
	追手門学院 高校	1	0	1	3	2
プレート	メリノール 学院高校	2	0	0	6	1
	鳴門渦潮 高校	1	0	1	3	2
	福岡 レディース	0	0	2	0	3
ボウル	CHEERS	0	0	2	0	2
	SCIX	2	0	0	6	1
	石見智翠館 高校B	1	0	1	3	3

SCIX カップ 女子 7人制ラグビー大会参加者数 (合計)

	11月13日		11月14日	
	中学	高校	中学	高校
人数	108	219	48	223
小計	327		271	
合計	598			

【大会運営】

【主催】

特定非営利活動法人 スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構(SCIX)

【後援】

神戸市 関西ラグビーフットボール協会 兵庫県ラグビーフットボール協会

神戸市教育委員会 神戸市スポーツ協会

special thanks

【大会レフリー】

白井健三(関西B) 武田正徳(関西B) 吉田藍(関西B) 西山璃美(関西B) 長野雅恵(福岡県C)
宮崎裕(関西B) 佐藤英春(関西B) 鍵恵子(大阪C)各氏

【救護班】

マッチドクター 上田敬博氏 看護師 岩根悠子氏

【スタッフ】

SCIX ラグビークラブ

(レポート 中野里美)

SCIXは女子ラグビーを応援しています！

スポーツ振興くじ助成事業

